



議会だより

No.203
令和7年1月30日
発行



宮城県
大衡村議会

おおひら



P4 補正予算
P8 一般質問
P15 臨時会

万葉こども園見によるアトラクション
(大衡村新年会)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



大衡村議会議長 高橋浩之

村民の皆様には希望に満ちた、令和七年の新春を迎え心からお慶び申し上げます。

日頃より村議会へのご理解と、議会活動に対する温かいご支援ご協力に、厚く御礼申し上げます。私たち議会は、行政と対等な立場で、議論し意見を交わしていくことが、これからの大衡村の発展に繋がっていくものと信じております。

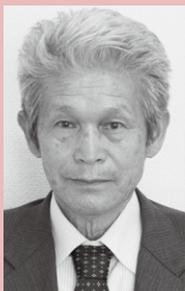
議会として、村の各種政策・事業について活発に調査討論を行い、課題解決や新たな展望に向け、政策提言するよう鋭意取り組んでまいります。

本年が、村民の皆様にとって、輝かしい年となりますようお願い、新年の挨拶といたします。

新年のメッセージ

私の思い

大衡村の発展と住民生活が良くなるよう議員活動を進めたい！



佐々木金彌

「信なくば立たず」みなさんの声に応えられる議会活動を心がけて。



副議長 石川 敏

村民の声を素直に村政に届け、風通しの良い大衡村を目指します。



議長 高橋 浩之

村政が住民の福祉向上につながるのを見極め、活動します。



文屋 裕男

「心の余裕」をもって行動していきたい。



細川 運一

村民の声を村政へ届け、活気あふれる村づくりへ努力してまいります。



遠藤 昌一

年男！新たな挑戦や変化に柔軟に行動していきたい。



小川 克也

近年は、地震、異常気象などの心配事が多数。今年は穏やかな年に。



佐野 英俊

今年も笑顔と感謝を忘れずに！をモットーに歩み続けたい。



赤間しづ江

新たな年。変化に対応し前向きに取り組んでいく。



山本 信悟

子育て支援日本！みなさんの笑顔を糧に目標に向け頑張っていきます。



早坂 美華

今年の抱負
聴く、調べる、討議する。



鈴木 和信

額 18億円台に



新設予定の五反田団地線

令和6年第4回定例会は、12月3日から5日まで3日間にわたり開かれた。

村長提出案件は、条例制定4件、条例改正1件、条例の廃止

1件、村道認定1件、令和6年度補正予算6件、報告2件の全15議案が提出され、すべて原案どおり可決された。その他、選挙管理委員及び補充員の選挙が行われた。

主 な 質 疑

小学校修繕工事

問 今回修繕する場所と今後大きな修繕が必要な場所はあるか。

答 体育館入り口の雨漏りと体育館暗幕カーテンレールである。プールろ過設備の老朽化が指摘されている。

五反田団地線

問 新設する五反田団地線事業費580万円の内容は。

答 用地買収面積が固まったことから、買収単価が決定し増額する。

障害者福祉

問 障害者介護給付の扶助費が増額になる理由は。

答 介護給付と居宅給付人数が当初想定より増加しており、一人当たり利用回数も増加しているため。

地域おこし協力隊募集

問 隊員募集にかかる経費内訳や、既に募集期間が過ぎていているが現在の応募状況は。

答 民間業者による開発であり、現在精査中と聞いている。

令和6年度
補正予算

村税収入さらに増

◆ 補正の主なもの ◆

◎歳入

村税 6,200万円
地方交付税 1億2,069万円
繰入金 △1億3,000万円
村債 △1,890万円

◎歳出

障害介護訓練給付費 1,338万円
道路維持委託料 1,154万円
橋梁維持補修事業 △3,374万円
給食センター修繕費 118万円

◎各種会計予算

会計別		補正額	予算額
一	一般会計	3,722万円	48億6,165万円
特別会計	国民健康保険	3,900万円	6億2,240万円
	介護保険	1,277万円	6億5,697万円
	後期高齢	8万円	6,539万円
水道	収益的支出	10万円	2億3,818万円
	資本的支出	35万円	3億3,345万円
下水道	収益的支出	37万円	3億5,492万円



強風で損傷した玄関ドア

給食センター修繕工事

問 昨年10月から稼働して1年も経たないで修繕工費の補正がされるが、更衣室のカーテンスペースの設置とトイレ内手洗い器は当初から見込めなかったのか。

答 学校給食衛生基準では義務化ではなかったが、県

の学校給食施設衛生管理巡回において指摘を受けたので補正するもの。

問 給食センターの玄関ドアの修理はなぜ必要なのか。

答 玄関ドアは強風の影響で枠の部分が損傷した。暴風雪柵の設置と合わせて修理したい。

主 な 質 疑

条例改正

教育委員報酬年額15万円⇒30万円

主な質疑

教育委員報酬

問 教育委員報酬が現行の年額15万円から、30万円に増額する理由と金額の根拠は。

答 報酬は何年も改定しておらず、県内でも最下位である。他市町の平均額を参考に算定した。

問 教育委員の活動において今後期待する役割は。

答 教育施策について積極的に意見を求め、教育委員の力を借りて教育行政を進めていきたい。

空き家対策協議会

問 これまで空き家対策協議会は設置していたのか。委員の活動内容は。

答 協議会は設置していない。今回改めて設置し、委員には空き家調査と対策計画策定の意見を求める。

条例制定

大衡村職員定数 111人

主な質疑

問 各課の業務内容を精査して職員定数を定めたのか。

答 定数の上限内で、各課の職員数を考慮し、将来見込まれる人数とした。

問 村の業務量からみて職員定数は何名が適切なのか。業務量調査を踏まえて職員定数の管理をすべきではないか。

答 村長部局の業務内容が増えることが見込まれるので増員し、教育委員会部局人数を減員する。他の部局は現状のままとし、総定員数は変えず111名とする。

村長部局	81人	⇒	87人
教育委員会	21人	⇒	15人
議会事務局	3人	⇒	3人
農業委員会	1人	⇒	1人
水道事業	5人	⇒	5人
合計	111人	⇒	111人

村道認定

松の平三丁目北線 (仙台北部工業団地内)

延長 684.6m
幅員 15m



令和6年12月定例会提出議案 15件

議案第53号	大衡村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	議案第60号	令和6年度大衡村一般会計予算の補正
議案第54号	大衡村条例の読点の表記を改める条例の制定	議案第61号	令和6年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正
議案第55号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	議案第62号	令和6年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正
議案第56号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	議案第63号	令和6年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正
議案第57号	大衡村職員定数条例の制定	議案第64号	令和6年度大衡村水道事業会計予算の補正
議案第58号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	議案第65号	令和6年度大衡村下水道事業会計予算の補正
議案第59号	大衡村条例を左横書きに改正する条例の廃止	報告第12号	令和6年度大衡村一般会計予算の補正
	村道路線の認定	報告第13号	損害賠償の額を定め和解することについて

◇採決状況◇

○賛成 ×反対 議長（高橋浩之）は採決に加わらない。

議案	山本 信悟	早坂 美華	鈴木 和信	小川 克也	佐野 英俊	赤間しづ江	文屋 裕男	細川 運一	遠藤 昌一	佐々木金彌	石川 敏	高橋 浩之	議決結果 (賛成:反対)
議案第53号～第65号	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10:0)

選挙管理委員及び同補充員の選挙

◎選挙管理委員

氏名	行政区
石川 隆行	衡上
伊藤 美枝子	大瓜下
小川 美雄	奥田
伊藤 正	葦崎

◎選挙管理委員補充員

氏名	行政区
遠藤 秀悦	衡下
横橋 幸一	衡中東
宮澤 明子	衡中
佐藤 圭	松原

選挙管理委員補充員

選挙管理委員に欠員が生じた場合、名簿順に補充員から欠員を補充する。

任期：令和6年12月25日～令和10年12月24日

一般 質問



5名の議員が村政を問う

質問者一覧表

鈴木 和信

- ・村における各種ハラスメント等への対応は
- ・新教育長としての学習の充実方針は
- ・新たな定住促進対策を

石川 敏

- ・鳥獣被害の防止対策を問う

早坂 美華

- ・教育長が考える今後の方針について
- ・新たな子育て支援の考えは

小川 克也

- ・交通安全対策は万全か

赤間 しづ江

- ・万葉のまちづくりをどう進めるか

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。

議会を 傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

3月4日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉gikai@village.ohira.miyagi.jp



かずのぶ 鈴木 議員

各種ハラスメントの対応は 敏速な対応に努める

ハラスメントの状況

問 他の自治体ではパワハラ・おねだり・贈答品問題があるが、村内の各種ハラスメント発生状況と相談窓口は。

村長 これまで数件あるが、個別案件の公表は差し控える。また、職員への周知が不十分であったので、周知徹底を図った。

公益通報の対応

問 公共事業の発注や物品購入は公益通報者保護法により内部通報の処理要綱は定めているのか。

村長 県内で規定を定めているのは6市6町だけで全市町村の半分もない。今後整備を進めたい。

新たな定住促進対策は

東京圏からの移住に100万円支援

人口減少施策

問 人口減少を食い止める施策や地域活性化の今後の取り組みは。

村長 これまで定住促進補助金、本年度より大衡村移住支援策を実施している。さらなる取組みとして奨学金返還支援制度など人材流出に歯止め対策を考える。

住宅の無償譲渡

問 新婚や子育て世帯に一定期間入居したら土地と住宅を無償譲渡する事業は考えられないか。

村長 現時点では検討していない。



大衡村
移住支援策

新教育長の学習の充実方針は 教員の指導力向上が必要

子育て・教育

問 宮城県は学力テスト最下位、不登校児童生徒最多と厳しい状況にある。早期にタブレット導入や大衡塾など支援をしているが、追加支援の必要性はないか。

教育長 教師が児童生徒から考えを引き出す力が大切と考えている。得意分野の伸長と不得意分野の克服を図り、学習に対する意欲喚起に努めていく。



熱心に勉強する 大衡塾



住宅建築が進む 亀岡地区

効果の上がるイノシシ対策を 引き続き被害防止に取り組む



いしかわ さとし
石川 敏 議員

防止対策

問 イノシシによる被害は農地、農作物にとどまらず、住宅周辺や道路、水路、河川などにも及んでいる。イノシシの侵入防止柵や電気柵の設置状況は。

村長 現在までワイヤーメッシュ柵は村内4地区で延長58kmを設置しており、電気柵は220件、助成金額は1607万円になっている。

柵の保守管理

問 柵の破損個所の補修や草刈り作業等の保守管理作業には、毎年多くの人員や経費がかかっている。作業経費の一部を村で支援できないか。

村長 保守管理作業は地区の農地維持保全会活動として取り組めば、国の交付金支給の対象となるので活用していただきたい。

問 被害対策実施隊 実施隊の協力のもとイノシシの処理をしているが、わなの管理や隊員の活動状況は。

村長 隊員の方々にはわなの見回りで年平均延べ1320日、設置撤去に190日など、被害防止活動に尽力いただいている。

被害防止計画

問 「大衡村有害鳥獣被害防止計画」は令和6年度までとなっている。次年度以降の防止計画は検討しているのか。

村長 対象鳥獣の捕獲や柵設置等に取り組むことで国補助事業の対象となる。次年度以降3年間の計画も継続して進めていく。

自衛隊への要請

問 王城寺原演習場からイノシシの出入りが多く見受けられ、演習場がイノシシの住処すみかになっている。自衛隊にも対策を協力要請すべきではないか。

村長 大和駐屯地や仙台防衛局にも演習場内フェンスの現状も報告している。村としても議会の協力もいただきたいながら、防衛当局に要望していきたい。



被害が大きい道路



演習場からの出沒も



はやさか みか 議員
早坂 美華

教育長が考える今後の方針は 学校は安心・安全が大事

クロームブック

問 小・中学校のクロームブック活用状況は。

教育長 小学校は秋休み以降、持ち帰りをしており使用頻度も高くなっている。中学校においては原則持ち帰りをし、宿題・連絡・授業配信に使用している。

問 クロームブックの故障や破損の台数と内容は。

学校教育課長補佐 小学校13台、中学校23台である。画面のひび割れ、電源が入らない等の故障があり、2台修理し18台購入した。

いじめアンケート

問 いじめが多い県では保護者にもアンケート調査をしている。仙台市では家庭で回答する方法をとっているが本村も検討してみてはどうか。

教育長 月1回、学校で紙に記入する方法の形でアンケートをとっている。家庭での回答は低学年の場合に保護者と考えられて良いが、反対に知られたくない子もいる。

LGBT教育

問 時代の変化にともない、LGBT教育をどのように進めていくか。

教育長 学習指導要領では扱われていないため、積極的に授業はおこなわないが、11月の校長会ではLGBTへの対応研修を進めるよう指示をした。今後内部で検討していく。

新たな子育て支援の考えは さらなる拡充を考えている

支援策

問 この自治体も子育て支援に力を入れているが、本村も先を見据えて行動すべきではないか。

村長 女性から選ばれることが大事。HP等を使い支援を見える化していき子育て日本一の村にしたい。

問 今後新たな子育て支援の考えは。

村長 7年度から結婚時と母子手帳交付時に葉酸サプリの配布、家庭で養育している未就学家庭に養育費補助、村保育施設に通園家庭は紙パンツのサブスク事業を検討している。

出産祝い金

問 出産祝い金を第二子以降増額する考えはないか。

村長 出産祝い金はこれまでどおりとするが、新たに高校生に対する入学祝い金を始めた。引き続き一人ひとりに対する支援をしていきたい。



ベビーのゆったりタイム

交通安全対策は万全か

危険箇所から対応している



おがわ かつや 議員
小川 克也

流入人口
問 村外から村内の企業に通勤してくる、おおよその人数は。

村長 国勢調査の結果では、平成22年度1500人、平成27年度7000人、令和2年度8000人である。

危険箇所
問 年々、流入人口が増えていることから、児童生徒の交通安全対策を強化することが必要だと考える。通学危険箇所の把握と対策は。

村長 大衡駐在所等の関係機関で組織する通学安全推進会議を開催し、危険箇所の現地調査をしたうえ

で、道路舗装や注意看板等を設置している

交通安全教育
問 児童生徒の交通安全教育は。

村長 小・中学校共に、交通安全教室を4月に行っている。また、住民から危険な自転車運転等の情報があった場合は、その都度、安全教育をしている。

ヘルメット購入費
問 交通安全の確保に資する製品の利用促進のため、ヘルメット購入費用を補助する考えはどうか。

村長 本村ではスクールバス等の利用者が多い地域性である。今後、近隣自治体の実施状況を注視していきたい。

交通安全指導隊

問 街頭指導や広報啓発活動等に日々尽力されている指導隊の謝金と費用弁償を引き上げ、交通安全対策を強固なものにできないか。

村長 他自治体と比較しても活動実態に即していると考えている。

問 引き上げは隊員のモチベーションや人材確保にもつながる。

班長と隊長の謝金の差額と、村主催行事での交通指導4時間以内と4時間以上の費用弁償の差額が共に千円しか変わらない理由は。

村長 差額の理由については定かではないが、交通安全に関する協議会で話題を提供していきたい。



指導隊に見守られ通学する小学生



あかま 赤間 しづ江 議員

万葉のまちづくりをどう進めるか

交流人口増に一層努める

問 昭和万葉の森は、天皇お手植えの松が育ち、御製の歌碑が建立され、万葉植物が自生する由緒ある県有の森林公園である。

開園から35年が経ち、今後は万葉の里のイメージに合う取り組みが求められる。自然や歴史、文化のソフト面を強化し、村内外から訪れてもらうための方策をどう考えるか。

万葉の館活用

問 園内の核となる万葉の館やふるさと美術館、万葉茶屋との連携を図り四季を通じて訪れてもらう方策は。

村長

県所有の万葉の館は、村のイベントや各種事業で広く知ってもらうことが必要である。美術館は、年10回の企画展を開催し、ギャラリーコンサートも年4回行なわれている。

利活用が検討されている万葉茶屋も含め、施設間連携は県と指定管理者まちづくりセンターが主体となつた取り組みが必要と考えている。

村花植栽運動

問 住民誰もが参加できて地域や各家の庭先にも村花キキョウ植栽運動を推進してはどうか。

花いっぱい運動、環境美化活動なども、万葉のまちづくりの一環と位置づけて進める考えは。

村長

村花キキョウについては、苗数を増やすなど行政区長と相談し進めていく。環境美化活動は、村民の協力で定着している事業であり、区長や各団体の協力を得て継続していきたい。

ガイドマップの作成

問 大衡の散策イラスト風ガイドマップを作成しては。

村長 尚綱学院大学との連携で令和5年度に観光パンフレットを作成し、村が出展するイベント等で配布している。

観光の広域連携

問 観光資源の少ない大衡の名所を訪れてもらうため近隣自治体連携をどう図るか。

村長 仙台黒川エリアの観光マップ作成、宮城黒川地場産業振興のためイベント開催に取り組んでいる。万葉の森は、国内有数のヤマユリ群生地として知られ、「連理木」があり重要な観光スポットになっている。県や近隣と手を組み交流人口増、インバウンド需要の取り込みに一層努めていきたい。



大衡小の全児童も参加した宮城県植樹祭2024(昭和万葉の森)

※連理木

2本の樹木の枝、または1本の樹木の分かれた枝が癒着結合したもの。縁結びなどの吉兆とされている。

全員協議会

無償貸付土地の一部返還

契約相手方	社会福祉法人みんなの輪
貸付目的	障害者福祉施設「わ・は・わ大衡」
所在地面積	大衡村大衡字鑑沢地内 11,646㎡
貸付期間	平成29年2月21日～令和19年3月31日
返還面積	約6,000㎡
返還に伴う事務処理	返還場所の分筆登記後に村に返還 測量登記にかかる経費は法人負担

令和6年10月7日・11月15日



返還される貸付地



企業進出が待たれる工業用地

半導体企業の進出が白紙に

概要	SBIホールディングス(株)と台湾PSMCの共同事業が解消
報道発表日	令和6年9月27日
意見	・事業解消に至る経緯と理由は。 ・村及び県の今後の対応は。
答弁	引き続きの誘致活動を続けていく。

行政組織機構再編の延期

概要	課再編計画の実施時期を当初予定の令和7年4月から1年先送りし、令和8年度から実施する。
意見	・実施時期を延期した理由は。 ・昨年からの準備作業の進捗状況が見えない。 ・当初提示案の根拠理由の説明が不明確である。

答弁	半導体企業進出が白紙になり、対応業務を見直す必要がある。 庁内各課の業務量調査、業務改革支援業務を進めており、その結果を踏まえ、事務事業の見直しにつなげていく。
----	---

金ヶ崎町議会との交流会

令和6年10月18日



大和駐屯地を視察

本村には王城寺原演習場がある関係から、金ヶ崎町議員と共に陸上自衛隊大和駐屯地を視察した。

施設概要について説明を受けた後、装甲車両展示を見て、車両体験搭乗も行なわれた。

資料館では自衛隊の歴史を紹介する資料が展示されており、大規模災害時の派遣活動記録も見る事が出来た。

第3回臨時会

令和6年12月23日

令和7年度から デマンド型交通本格運行へ

運行の概要

- ・令和7年4月本格運行開始
- ・運行業務は外部委託
- ・運行車両は3台に増車
- ・運賃は引き続き無料
- ・高校生も乗車可能

債務負担行為内容

- ・運行業務委託期間 令和7年度
- ・業務委託限度額 3,400万円

◆ 決議 ◆

令和6年度大衡村一般会計補正予算(第4号)中、第2条(債務負担行為の補正)については、「デマンド型交通運行業務」の制度設計内容が未だ十分でないため、下記事項について詳細を改めて議会に説明をすべく、付帯決議する。

1. 令和3年度からの試行期間における運行実績
2. 試行の事業評価(課題と具体的な改善策)
3. 本格運行の業務委託計画の詳細内容
4. 高校生利用時の運行案
5. 村と委託先の役割、責任の所在

※付帯決議

議案を議決する際、付け加えるべき議会の意見や要望のこと。

採 決

付帯決議を決定
(賛成6 反対4)

主な質疑意見

① デマンド運行業務経費が現在の約3倍になるが積算根拠は。利用料運賃は引き続き無料の予定だが、有料化にする検討はしなかったのか。

答 現在の村直営から運行業務全部を外部委託する計画であり、運行システム経費や従事者人件費等を含め予算限度額3400万円になる。運賃は試行中の現在も無料であり、当面は無料とする。

② 運行業務を外部委託方式に決定して準備作業に着手したのはいつか。
運行管理責任は村側か、委託業者側か。現在の従事職員の処遇はどうなるのか。

答 3年間試行実施してきたが本格運行に向けての具体的な準備は10月から着手した。
運行責任は委託業者の運行管理者が担うことになる。
運転手従事者も委託業者側の雇用になる。

③ 運行委託業務の計画内容が未だ不十分である。
業務内容をもっと精査し、利用者のためより良い制度にしてから本格運行に移行すべきではないか。

答 利用者からの意見要望をもとに、委託業務として令和7年度から本格運行をしていきたい。
運行業務詳細については、改めて住民や議会にも説明していく。



本格運行するデマンド車両

Rレポート Report

総務民生

調査年月日:令和6年11月7日・11月13日

高齢者福祉

健康増進活動事業

高齢者の生きがいをづくりに対して補助金を交付するもの。

概要

補助対象	65歳以上が5人以上在籍する任意団体
補助金額	上限3万円(補助対象経費の2分の1・予算額30万円)
対象経費	講師謝礼・旅費交通費・使用料
活動内容	運動習慣の増加や介護予防につながる活動
実績状況	3団体

◆調査結果意見

健康寿命の延伸保持と増進を図るため、補助対象の制限を緩和し、多くの団体に補助金が活用される工夫が必要と考える。



大衡ヨガサークル

移住定住支援

空き家調査

令和4年度に調査実施して以来、空き家の所在を改めて把握するため、区長等による空き家調査を実施した。



村ホームページに掲載されている空き家

概要

調査期間	令和6年6月末～8月末まで
調査結果	61件(令和4年度74件)
減少理由	売買済み・家屋の滅失等
対応	活用の意向調査を実施

◆調査結果意見

意向調査実施後、空き家バンクに5名登録申請している。空き家の有効活用と移住定住促進を図るため、情報を随時提供されたい。

子ども子育て支援

子ども・子育て支援事業計画

子育ての現況把握を整理し、新しい子育て支援事業計画策定に向けた取り組み。



児童館でのお楽しみ工作会

実績

策定期間	令和5年9月1日～令和7年3月末まで
契約業者	(株)ぎょうせい東北支社
契約金額	616万円(令和5年度分253万円・令和6年度分363万円)
業務内容	アンケート調査・現行施策の検証・事業計画の作成

◆調査結果意見

就学前児童と小学生のいる世帯にはアンケート調査を実施しているが、中学生や高校生のいる世帯の現況把握も必要と考える。

調査年月日:令和6年10月28日・11月12日

牛野ダム改修計画

- 改修目的
昭和48年度供用開始から50年以上が経過したことによる劣化
- 工事内容
 - 洪水吐補修（ポリマーセメント補修）
土砂吐工（土砂止新設・管理橋設置）
 - 斜樋工（階段手摺及び量水標更新）
操作室更新（鉄筋造平屋建）
 - 取水ゲート制作据付、土砂吐ゲート制作据付



工事中の牛野ダム

◆調査結果意見

早期改修工事の完了と農業用水の確保に寄与されたい。

全国学力・学習状況調査結果(宮城県)

- 目的
- 全国的な児童生徒の学力学習状況を把握分析し改善を図る。
 - 児童生徒への教育指導の充実や学習状況改善に役立てる。

調査対象（仙台市・国立・私立を除く）

対象	調査事項	
	教科調査	質問調査
小学校6年生	国語・算数	学習意欲、生活習慣 学習習慣、模擬意識 自己有用感
中学校3年生	国語・数学	

教科に関する結果

対象	教科	宮城県正答率	全国正答率	全国との差
小学生	国語	65%	68%	-3
	算数	57%	63%	-6
中学生	国語	55%	58%	-3
	数学	46%	53%	-7

◆調査結果意見

市町村教育委員会と課題の共有を図り、学力向上に向けた教育活動の改善を行政、教育関係者とともに努められたい。

大衡村指定有形文化財「須岐神社」

- 概要
- 須岐神社は黒川郡四社の一社として記載され、古代から由緒ある神社。
 - 延享3年（1746年）、仙台藩6代藩主伊達宗村公の疫病祈願のため、家臣が社参したと言われ、名社として存続し、明治6年郷社となる。
 - 奉納されている絵馬は、古いもので寛保元年（1741年）江戸中期から昭和期までのものが40枚あり、25枚が江戸時代のものが拝殿に掲げ保存されている。
- 大衡村指定文化財の指定（平成15年12月1日）



文化財指定されている絵馬（1741年）

種類	所有者	所在地
建造物 絵画・彫刻	須岐神社 宮司 齋藤 公 氏	大衡村駒場 字下宮前2番地

◆調査結果意見

歴史ある文化財は維持管理費が年々かさむので、村の文化財として大事な管理に努められたい。



大衡小学校 6年
ほりこめ
堀籠 めいさん

美容師になりたい

私の将来の夢は美容師になることです。理由は髪を切って生まれ変わったような姿を見てキ

ラキラした笑顔にさせてあげたいと思ったからです。小さいころ私が髪の毛を切ってもらったとき自分じゃないような姿に美容師さんがしてくれました。私はその日ルンルン気分でした。帰りました。そのことがきっかけで美容師になりたいと思いました。そのために算数、工作など今自分のできることを考え、夢に向けて頑張ります。



大衡中学校 2年
とみなが
富永 ゆいと
唯聖さん

家業を継ぐ

僕の将来の夢は、曾祖父の代から続いている家業の精肉店を継ぐことです。

理由は、両親が仕事をしている姿に感銘を受けたからです。接客をしている様子や人のために働いているところを見て、自分もこの仕事に就きたいと憧れるようになりました。そのためにも、大学に進学して経営や経済について学びたいと考えています。もし、この夢が変わったとしても、両親の仕事に対する姿勢だけはしっかり受け継ぎたいです。

わたしの夢

人はみな

飛び散る汗、懸命にプレーする全国の青少年少女たち、夢中で応援し続ける大衡村民。2001年10月14日宮城国体の晴れたあの日の多目的運動広場の特設スタンドの風景を観て、私はふるさとをここにすると決めた。

この数年前、中学校近くの横断歩道で一時停止した車に生徒たちが帽子を取り、「有難うございました」と一礼した姿を見て私は日本一の村人になるなと思った。

村塾かすみ草と名付けて頂いた中高年パソコン教室にも、2011年3月11日東日本大震災が襲いかかった。

村塾かすみ草 塾長

うした
りくお
羽田 陸男さん

被災生活の子供たちと一緒に、津波被害のあった沿岸小・中学校の子供たちへの励ましの絵手紙、壁新聞を描き、届けまわった。度重なる励ましに、被災地から返事が届き、元気を取り戻した様子に皆で喜んだ。この行いを見守っていた先生も温かい教材に何度も涙した。

私は大衡村の子供たちを日本一の子供たちと誇りに思っている。素晴らしいことが山ほど残るこの村に命ある限り感謝し、皆さんに私の日本舞踊を見ていただこうと思っている。

みんなの声



村文化協会発表会で

表紙写真

大衡村新年会において、万葉子ども園によるアトラクションとして「白虎隊」「秋田人形甚句」が元気に披露されました。

あとがき

新しい年がスタートしました。議員任期も折り返しの年です。

想いを新たに、これからも村の出来事や議会の活動内容を、わかりやすく丁寧に皆さんにお伝えしてまいります。

石川 敏

大衡村議会
広報広聴常任委員会

委員長 赤間しづ江

広報分科会

会長 石川 敏

副会長 小川 克也

委員 鈴木 和信

委員 早坂 美華

委員 山本 信悟

発行責任者

議長 高橋 浩之

